

令和4年度地域おこし協力隊実績報告書

余市町長 様

余市町地域おこし協力隊員 靱木 勝巳

令和4年度余市町地域おこし協力隊の活動内容について、余市町地域おこし協力隊設置要綱第8条第2号の規定により、その実績として関係書類を添えて報告致します。

令和4年度は新商品開発、販売と催事の企画、PR、実施を中心に活動しました。3年度に物販の1年の流れを見て、GWから10月末までの繁忙期に閑散期の3倍程度の売上げを作らなければいけない事を痛感し、繁忙期に向けて新商品の開発、販売を行いました。

また、店舗での販売と同様に催事にも積極的に参加しました。さっぽろテレビ塔で7月、10月の余市産フルーツを中心とした販売に11月には日本一の売上げを誇る鹿児島山形屋でのアップルパイの実演販売と12月は札幌地下歩行空間での余市商工会議所主催の催事にも参加しました。

そして前年から実施されているどうみん割、全国旅行支援で発行されている「ほっかいどう応援クーポン」を物販3店舗で登録し、実施中のトラブルの対応や換金手続き、クーポン発行先の宿泊施設や旅行会社を集計し、5年度の店舗運営に役立つ分析を行いました。

## 1. 新商品開発（地元事業所コラボ商品、おみやげ用箱菓子）と販売

GWからの繁忙期に合わせて地元事業所 sugar garden、コミュニテイ茶屋とコラボした余市産のフルーツを使用した商品を開発、販売を開始しました。そしておみやげ用箱菓子も2種類の新商品を販売開始させました。

### （2種類のおみやげ用箱菓子新商品）



1箱1,188円でも個包装で20個入った職場用？で売られています。



2022年7月後半から発売開始。mAni Design 景氏デザイン

(地元事業所とのコラボ新商品)



コミュニティ茶屋



Sugar Garden



ニコー食品×日本きくらげ余市ファーム

- 「余市りんごカップケーキ」、「ソーラン武士!!の生どら」は、2023年GWよりリニューアル発売予定
- 「ソーラン武士!!の揚げかまぼこ」は2023年GWより再度PRし販売開始予定

2. 催事の企画、実施およびPRについて

7月、10月のさっぽろテレビ塔で余市のさくらんぼ、ぶどう、りんごの催事販売。

11月に急きょ鹿児島山形屋で開催の「北海道物産展」にアップルパイの実演販売で参加。

山形屋催事担当者と出店にあたりレイアウト、什器レンタル、期間中の販売業務、テレビ取材対応、冷凍倉庫からの材料運搬に、北海道に戻ってからは収支計算まで担当しました。

12月は札幌チカホにて余市商工会議所主催の催事に参加。出店した4件の催事は全て黒字で、メディアでの告知も行い余市町のPRにもなったと思います。



7月のテレビ塔催事1回目（さくらんぼ販売）



10月のテレビ塔催事2回目（希少なぶどう販売）



11月には、鹿児島の北海道物産展に出店



12月、札幌チカホでりんごなど特産品の販売

催事出店以外は、2022年8月に新商品紹介とフォロワー獲得のために「夏休みツイッターキャンペーン」を開催しました。

そして、2022年12月からは余市ゆき物語に、昨年、今年にオープンした店舗と地域おこし協力隊開発の新商品をPRする企画で参加しました。企画はうまくいきませんでした。さっそくGWから観光協会店舗での商品販売や番組撮影協力など今後につながる成果が得られたと思います。

### 3. どうみん割、全国旅行支援で配布のクーポン集計、精算、分析

前年度からまん延防止措置発出で休止もあったどうみん割事業ですが、4月から12月は休止もなく、6月をピークに7月、8月の3か月で3,083枚の利用があり期間中の約6割を占め、余市、積丹方面にきたお客様に利用していただいたと思われ。そして3か月間の利用枚数3,083枚のうち日帰りバスツアーから配布された枚数は2,304枚で約75%となっています。利用された3店舗の割合は、エルプラザが約27%、道の駅が約58%、ミュージアムショップが約15%となりました。

### 4. 研修会参加、余市西中学校教師など

- (1) 2022年11月17日(木) 倶知安町 ホテル第一会館 1F プラザホール  
「しりべし 食のブランド・ステップアップ相談会」参加



①札幌のイタリアンレストラン・オーナーシェフ。  
②北海道よろず支援拠点「食分野」担当。  
③どさんこプラザ店舗・卸部門担当。  
上記3名に日本きくらげ余市ファームとニコー食品とコラボした新商品「揚げかまぼこ」の試食感想および販促、PRのアドバイスをいただきました。①のオーナーシェフには、提供の仕方(温めたり、揚げたてなど)売れる商品となる可能性があるとおっしゃってもらえました。

- (2) 2023年1月19日(木) 余市西中学校3年生の総合学習の授業に講師として参加



「余市町の未来」にテーマに基づき「余市の良いところ、問題点」について30分ほど講話しました。良いところは、「商業圏の札幌に近く海も山もあり食材の宝庫」と話し、問題点は「札幌に近いゆえに、社会貢献にも力を入れた核となる事業所がないので人口が減っている」と思っている。これは余市を含めた地方の問題」と発表。とは言え地元事業所およびおみやげ品の製造、卸業者と新商品開発を中心とした活動を行い、余市町への誘客を頑張っていると伝えました。

(3) 2023年1月26日(木) 札幌市産業振興センター  
札幌フィルムコミッション会議に参加

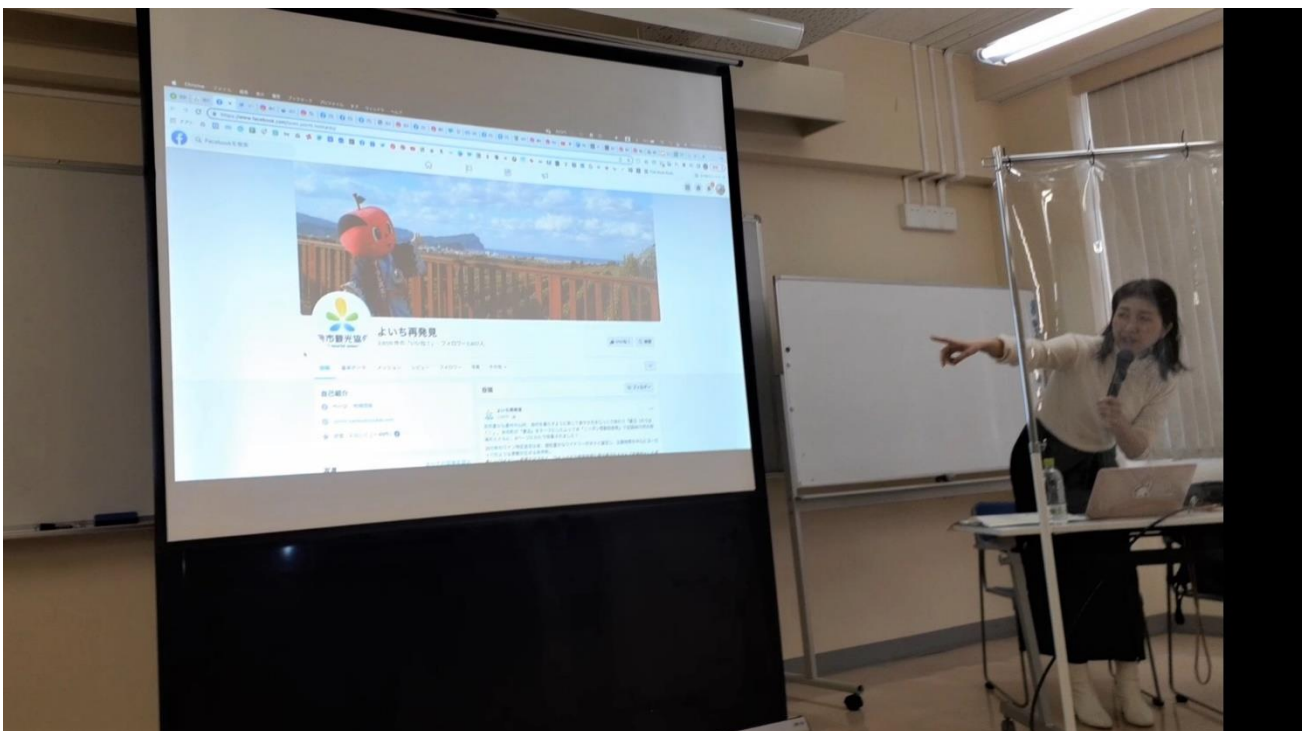


①北海道の特徴をどう誘致に結び付けるか？

②地域で撮影する最高の映画とは？

の2つのテーマで函館、札幌、岩見沢フィルムコミッションなど7名のメンバーでグループディスカッションを行いました。①は「受け入れ側の協力体制が撮影ロケーション同様に大切」といった意見が出ました。②については「作品内容および映像美はもちろん大事ですが、撮影地を聖地巡礼してもらい地域経済を循環させること」が目的と、私を含めたメンバー大半の意見でした。

(4) 2023年3月9日(木)、10日(金) 札幌市市民活動プラザ星園  
「SNSスキルアップ講座」に参加



観光協会 Facebook (よいち再発見) 診断中の様子

3月9、10日の2日間にわたり道内10市町村の地域おこし協力隊が参加のSNSスキルアップ講座が開催されました。私を含め5名の隊員が道内の観光協会などに所属し、SNSを使用したPRを行っていました。アクセス数アップやBUZZらせる為の方法を知りたいと講師に話していましたが、講師いわくその前に必要な「現状課題の抽出」や「SNS投稿の目的」そして投稿したものを分析する方法などを他社SNS

やHPを観ながら指導いただく実践的な講座でした。

初日後半から2日目は参加した協力隊員が運営など関わっているSNSを診断して改善点を指導してもらいました。私以外に田口隊員や観光協会職員でFacebook、インスタ、Twitterの投稿を行っているので、講師の許可を得て、診断中の動画を撮影し観光協会LINEグループでも共有しました。この動画を見たインスタ担当職員は早速、実践した投稿をインスタのストーリーズにアップしていました。Yoichi タータンが背景にある投稿に「Yoichi タータン」の詳細が分かる観光協会HPへのリンクを貼りユーザーの興味に応える内容の投稿でした。講師いわくユーザーの興味を満足させ、購買に繋がる情報提供が最低限必要な投稿とおっしゃっていました。

私も今回の講座で学んだことを新年度の4月に新商品PRを兼ねたTwitterキャンペーンとインスタグラムでの有料広告を考えているので、早速実践したいと思いました。